

大 高山小学校5年生児童が河川の重要性を学ぶ 大隅河川国道事務所と地元企業による河川学習会

11月21日、河川の安全な維持・管理に関する知識を深める学習会が高山小学校5年生63名を対象に行われました。

初めに小学校で、国土交通省大隅河川国道事務所、山下河川管理課長と地元企業の株式会社



二宮鉄工、鶴田陽三代表取締役による肝属川の防災と環境、水門の役割について説明がありました。

その後、肝属川沿いの甫木水門に移動し、操作室で操作盤のスイッチを押してゲートの上げ下げを体験。開閉の様子も見学しました。河川調査のために用いる、最新のドローンが登場するなど、子どもたちは興味深々に様々な体験をしていました。

国 年に一度の貴重な現場想定訓練、関係機関との連携強化を図る 見トンネル総合防災訓練を実施

11月28日、国見トンネルにて、トンネル内での交通事故を想定した総合防災訓練が行われました。正面衝突事故発生の想定で行われた訓練は、肝付警察署、町役場、町消防団（本城分団、北方分団、南方分団）、大隅肝属地区消防組合、県大隅地域振興局の関係5機関が参加しました。



トンネル内は暗く、動きが制限される中、各隊員が迅速、的確な行動により、災害状況の把握、そして被害拡大の防止を確認する貴重な訓練となりました。訓練後の終了式では、福元副町長が、「今度も連携の強化と初動体制の充実強化を図りましょう。」と講評しました。

荒 地域の繋がりを深め、災害に備える 瀬振興会で避難訓練実施

12月2日、波見地区の荒瀬振興会で避難訓練が実施されました。昨年11月に完成した新たな避難所は海拔22メートルの高台にあります。参加者は、避難所を活用した災害時の行動をそれぞれ確認しました。

そして、訓練終了後には参加者全員で炊き出しを食べながら、避難時の近所の連携をどうするかなど、地域の繋がりをより深め合う機会となりました。

